

低炭素社会戦略センター（LCS）10周年記念シンポジウム

ーこれまでの10年、そして、『明るく豊かなゼロエミッション社会』に向かってー

日時 令和元年12月4日（水）13:30～17:00

場所 伊藤謝恩ホール

基調講演 要旨

「ゼロエミッションに向かう経済社会」

中島 厚志（独立行政法人経済産業研究所 理事長）

気候変動加速の中で、その要因となる温室効果ガス排出の抑制に向けて化石燃料由来の火力発電削減や技術開発などが進められている。しかし、先進国もさることながらアジアなど新興国ではコストの問題等もあり、削減は容易ではない。

このような状況にあって、第四次産業革命に付随するエネルギー革命がクリーンな再生可能エネルギー主体に進んでいるのは心強い。また、人々の所得増とともに必然的に増えるコト消費も、モノ消費に比べるとCO₂発生量を半減させる。さらに、急速に普及しているシェアリングエコノミーでは、自動車などモノの所有を利用に転換させるものである上に近年ではスキルシェアの割合が増えており、いずれも温室効果ガス削減に効果的である。今後、温室効果ガス削減には一段の努力が不可欠としても、消費行動や生活様式および世界的人口増の鈍化などによる社会構造の変化がおのずと社会をゼロエミッションに向かせる点は注目に値する。